

第45期モットー「お客さまに喜んでいただけるプロになろう！」Ⅲ
ー5分前・前準備・後始末ー

「幸せを願って」

NO.224

H25. 3. 10

(株) ユ キ
ダスキン新居浜支店
社長 小野 正師

合掌 今年の冬は寒く冷たい日が続きましたが、3月に入り今日(6日)はポカポカと温かく、ああ春がやってきたんだなあと思わずニッコリと微笑んでいます。この日本の四季の巡りが、私たちの感性を磨き自然への感謝を醸成してくれるのでしょうか。温かな希望の春がやってきました。

さて、ご案内のように来期はダスキン創業50周年(創業記念日、昭和38年11月16日)と、新居浜支店45周年(昭和43年9月FC加盟)の大きな節目の年を迎えます。

ダスキン本社・山村輝治社長の挨拶を一部抜粋します。

【今から50年前、中古の洗濯機と乾燥機、10人ほどの働きさんでダスキンは産声を上げました。ダスキン本部では、創業時を知る働きさんは少なくなりました。また加盟店オーナーの皆さんも同じく、2代目、3代目が変わってきています。創業からこれまでを振り返るとダスキンは、経営理念を加盟店のみなさんとも共有し、ダスキンファミリー全員で祈りの経営を実践していこう、という50年間でした。……昨年はダスキン創業者・鈴木清一の生誕100年。昨年は鈴木清一の33回忌。そして今年はダスキン創業50周年。さまざまな面で大きな区切りを迎えたと感じています。…鈴木清一は、乾式の化学ぞうきん「ホームダスキン」を世に送り出しました。これは単に便利なぞうきんを開発したということではなく、「水を使わない拭き掃除」という従来にない全く新しい掃除方法を日本の家庭に提案したのです。…】

水を使わず、ホコリを舞い上げず、簡単キレイにお掃除できるダストコントロールシステムが登場し、当時は「魔法のぞうきん」と呼ばれ、特に冬の冷たい水ぞうきん掛けや主婦の家事労働を軽減させる画期的なおそうじ革命を起したのです。もちろん商品の良さだけでなく、創業者鈴木清一氏のダスキン祈りの経営・経営理念や高潔なお人柄や魅力ある人間性に多くの方が惹かれ、そして救われたのです。

私の母である小野由生枝会長(88歳)が昭和43年43歳の時にこのダスキンと運命的に出会い、ダスキニューキを創業し女手一人でスタートしました。当時の様子や思い

出を、現経理担当の小林千草より期首全体会で語ってもらいます。

その後、私が昭和 49 年 4 月にダスキン本社研修働きさんとして 1 年学び、翌 50 年にダスキニューキに入社しました。2 年後に、現専務も加わり家業から少しずつ企業化されてきました。平成元年 20 周年に社長を交替し現事務所を落成、平成 12 年(2000 年)には新しく新居浜支店として生まれ変わりました。私の人生はダスキンによって育てられ、多くのご縁あった働きさんやハーティさんたちに育てていただきました。会社の経営は難しく、特に若い時は失敗続きで恥をかき痛い目辛い目にも遭いながら、それでも多くの人々に助けられ支えられ、こうして 45 年の長きを迎えることができました。今も至らぬ社長を支えていただき心より感謝申し上げます。

そして、私は来期から「ダスキンプランチャイズチェーン全国加盟店会」理事長として、全国を舞台に仕事をさせていただく機会を得ました。田舎者であり、力不足ではありますが、怖めず臆せず(おめずおくせず)ダスキンに育てていただいたご恩返しを、自身の人生の集大成として、理想のダスキン像実現に向けて邁進いたします。私の全ては、この会社、(株)ユキ・ダスキン新居浜支店にあります。どうか宜しくご支援ください。

来期のモットーは、「めざせ日本一」—素敵な人になろう—と決めさせていただきました。新居浜支店 50 周年までの 5 年計画、第 1 年目です。まずは、今期、玉置先生に教えていただいたビジネスマナーをしっかりと自分のものとし、各部門に定着させます。新居浜支店のスタッフやハーティさんには、当たり前のマナーとして身につけていただきます。更に、人間性(品性や人格、教養)や人間力(仕事のできるスキル)を磨き、素敵な魅力あるひとづくりをめざします。一人ひとりが人間として成長する。お客さまに喜んでもらえる、仕事のできるプロをめざします。自分を磨けば仕事が愉しくなり、家庭に帰れば父として母として、大切な家族である我が子を幸せに導くことができます。親の一所懸命に生きる姿を、必ず子どもが真似をしてくれます。自分が強くなり、幸せになって周りの大切な人を守り導くのです。私たちは謙虚に学び続け、誰かの役に立つ責任があります。どうか互いに少しずつ学び合い、成長していきましょう。

15 日(金)期首全体会・たんぽぽパーティで全員の顔を揃えましょう。45 周年の社内イベントを平年よりも少し豪華に、そしてお客さまにも気持ちばかりではございますがお礼品を用意いたしますのでお楽しみに活用ください。

「いつもありがとうございます」の感謝の心と、新しい夢に向かって手を繋ぎ、1 歩々着実に進んでいきましょう。宜しく願いいたします。 合掌